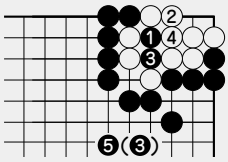
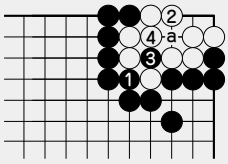
詰碁解答　（問題は13頁）

〈正解〉



まず黒１のキリが手順です。白４と黒２子を取らせた後、黒５の打ち欠きでゴールです。

〈失敗〉



黒１のアテには白２が冷静で、白４まで生きられてしまいます。なお白２で３につぐのは、黒２とアテられ次いで白ａのコウになるのでご用心。

詰将棋解答　（問題は13頁）

〈正解〉

☗３三角成△同玉☗２二角成△２四玉☗１四銀成△三四玉☗２四成銀△同玉☗２三馬までの九手詰め。

〈解説〉

☗３三角成から☗２二角成が手順の攻め。次の☗１四銀成が本題の急所。どちらで取っても☗２三馬で早詰み。△３四玉に☗２四成銀がトドメで待望の☗２三馬が実現し解決。

一般社団法人
全日本建設技術協会
令和３年度理事･監事等構成

会　　長　大石 久和

副 会 長　後藤 敏行
　　小川 富由
　　小原 恒平
　　神山　守

理　　事　西植　博
　　安田 吾郎
　　藤井 元生
　　髙吉 晋吾
　　小林 秀晃
　　永澤 親兼
　　金子　勉
　　細島　譲
　　牧野 裕之
　　棚橋　元
　　津坂 英司
　　西出 俊亮
　　有路　稔
　　木村 圭策
　　植村 公彦
　　野田 主馬

専務理事　泊　宏

常務理事　西成 秀幸

監　　事　加藤 利弘
　　花井 徹夫

編集後記

今年も４月号の特集は「技術の伝承・技術力の向上にむけて」です。

人口減少社会を迎え、社会全体で働き手が減少する状況において、生産性の向上は喫緊の課題です。これまでi-Construction、更にDXの推進が図られており、インフラの整備や管理に携わる技術者もデジタル技術など多様な技術を習得していくことが必要になっています。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来の方法では職員の育成がうまく進まないことが各機関では悩みとなっています。また、人員の削減が進んできており、限られた時間で効率的に技術を習得することが必要になってきています。さらに、気候変動に伴う豪雨の激甚化やカーボンニュートラルなど新たな政策課題に応じた対応も求められています。これらのように、新しい施策や技術の動向に関する情報を収集していくことは重要ですが、新しいツールだけでインフラが適切に整備・管理できるわけではありません。現場に根差したベースとなる技術があってこそ、最新の技術を有効に活かすことができます。

このような時代における土木技術者のあり方について、本号の巻頭言で廣瀬技術審議官から方向性を示していただいています。また、矢吹教授、松田前会長、成田総括災害査定官から貴重なメッセージを頂いています。さらに、各地方整備局、地方公共団体等の取組を掲載しています。これらの中には、AIなど新たな技術を学ぶ研修（例えば21頁）、VRなど新たな手法を用いた研修（例えば18頁）、ブルーカーボンなど新たな課題に対応した技術開発（例えば28頁）、地に足をつけた基礎となる技術の習得（例えば15頁）等が多く盛り込まれています。

時代は変化していきますが、月刊「建設」では、４月号で特集を組むとともに、年間を通して「後輩技術者に向けたメッセージ」「学ぶ・つなぐ・広げる」などを連載し、全国の会員の技術力向上を後押しします。

（本部事務局）

月刊「建設」編集委員

委員長　杉中 洋一

副委員長　野坂 周子
　　菅原 寛明
　　高原 洋介
　　大坪 祐紀
　　森田 裕介
　　松岡 佳秀
　　伊藤 直樹

委　　員　藤井 佳人
　　増田 達
　　里内 俊介
　　大利 泰文
　　板倉 舞
　　松井 大生
　　道谷 健太郎
　　猿澤 宗一郎
　　石川 勝浩

委　　員　山本 洸太
　　中村 允宣
　　秋山 秀樹
　　南　彩
　　河合 功介
　　吉川 昌孝
　　永野 収
　　桑嶋 健
　　三輪 晴文

（令和４年３月31日現在）

広告掲載に関するお問合せ先
一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 機関誌編集担当
TEL：03（3585）4546　FAX：03（3586）6640　E-mail：kensetsu@zenken.com

※本誌の内容の全部または一部について、法律で認められた場合を除き、無断で転載・複写等することを禁じます。

第66巻　第４号
発　行　一般社団法人　全日本建設技術協会
〒107-0052 東京都港区赤坂３-21-13 キーストーン赤坂ビル７階
TEL：03（3585）4546　FAX：03（3586）6640
URL：http://www.zenken.com/
印　刷　大盛印刷株式会社　TEL：03（3971）1246
（発行数60,600部）